

Cisco Aironet 3800 シリーズ アクセス ポイント

汎用性の高い Cisco® Aironet® 3800 シリーズ Wi-Fi アクセス ポイントは、アクセス ポイント機能に関して業界最高レベルの機能性を誇ります。

製品概要



Cisco Aironet 3800 シリーズは、新しい 802.11ac Wave 2 標準に向けて準備をしている組織にとって、最適なソリューションです。このアクセス ポイントは、この新しい標準に対応するだけでなく、最高の柔軟性と汎用性を提供します。

お客様とのやりとりに Wi-Fi を利用している大企業の場合、この製品を操作する必要はありません。3800 シリーズは非常にインテリジェントなため、エンド デバイスのアクティビティと使用量に基づいて判断が行われます。この自動化により、Wi-Fi ネットワークが最高のパフォーマンスで稼動していることが確実になるため、他の差し迫った作業に時間を費やすことができます。

Aironet 3800 シリーズは、シスコを業界のトップへと導いた特徴や機能を備えており、高密度な屋内環境におけるワイヤレス環境の拡大、キャパシティ、およびカバレッジのギャップを管理するのに理想的な価格で提供されます。

機能と利点

機能	利点
802.11ac Wave 2 のサポート	理論値では、無線ごとに最大 2.6 Gbps の接続レートを実現します。これは現在のハイエンドな 802.11ac アクセス ポイントのおよそ 2 倍になります。
高密度エクスペリエンス	高クライアント密度のデバイスに対して、高いパフォーマンス カバレッジを提供するクラス最高レベルの RF アーキテクチャです。エンド ユーザにシームレスなワイヤレス エクスペリエンスを提供します。802.11ac Wave 2 無線のカスタム ハードウェア、Cisco CleanAir®、Cisco ClientLink 4.0、アクセス ポイント間のノイズ除去、および最適化されたクライアントのローミング エクスペリエンスなどの機能があります。
マルチユーザ MIMO (MU-MIMO)テクノロジー	MU-MIMO では 3 つの空間ストリームをサポートしているため、アクセス ポイントはクライアント デバイス間で空間ストリームを分割できるようになり、スループットを最大化できます。

機能	利点
マルチギガビットイーサネットのサポート	100 Mbps および 1 Gbps に加え、2.5 Gbps および 5 Gbps のマルチギガビット アップリンク速度を実現します。業界で初めて、すべての速度を 10GBASE-T 配線だけでなくカテゴリ 5e 配線でもサポートします。
フレキシブル ラジオ アサインメント(柔軟な無線割り当て)	RF 環境に基づいて、無線を提供する際の動作モードをアクセス ポイントでインテリジェントに決定できるようにします。アクセス ポイントは、次のモードで動作できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 2.4 GHz および 5 GHz モード: 一方は 2.4 GHz モード、もう一方は 5 GHz モードでクライアントに無線を提供します。 ● デュアル 5 GHz モード: アクセス ポイント内の無線は両方とも 5 GHz の帯域で動作します。802.11ac Wave 2 のメリットを最大限に引き出し、クライアント デバイスのキャパシティが増加します。 ● ワイヤレス セキュリティ モニタリングおよび 5 GHz モード: 一方は 5 GHz でクライアントに無線を提供し、もう一方は、攻撃者、RF 干渉および不正なデバイスのフル スペクトラムをスキャンします。
デュアル 5 GHz 無線サポート	無線は両方とも 5 GHz モードでクライアントに提供できるため、クライアントのキャパシティを増加させながら、業界トップクラスの 5.2 Gbps (2 X 2.6 Gbps) の無線速度を実現します。
スマート アンテナ コネクタ	外部アンテナのある 3800 シリーズ モデルには、インテリジェントな 2 つ目の物理アンテナ コネクタが用意されています。このコネクタにより、単一のアクセス ポイントで 2 セットのアンテナを接続およびアクティブ化できます。このため、ホール、コンベンション センター、図書館、カフェテリア、アリーナやスタジアムなどの高密度かつ広い公共エリアで、非常に柔軟なネットワーク設計が可能になります。
モジュラ アーキテクチャ	第 2 世代のモジュラ アーキテクチャが最初に導入されたのは、3600 シリーズ アクセス ポイントです。新しいサイドマウント接続により、企業は、天井からアクセス ポイントを取り外さずに、モジュールを必要に応じて追加したり取り外したりできるようになりました。これにより、ネットワークのアップグレード時にお客様の時間と費用をさらに節約することができます。この新しいサイドマウント アーキテクチャにより、3800 シリーズ モジュールのフォーム ファクタの柔軟性が強化され、加えて統合されたアンテナおよびモジュール自体の外部アンテナを使用したソリューションをさらに柔軟に選択できるようになります。3800 シリーズ モジュールでは利用可能な電力が 9 W から 18 W に倍増され、対応可能なモジュール アプリケーションおよびソリューションの幅が広がります。
160 MHz チャネルのサポート	最大 160 MHz 幅のチャネルをサポートする動的帯域幅選択により、RF チャネルの状態に応じて、20、40、80、および 160 MHz チャネル間でアクセスポイントの動的な切り替えが可能になります。これにより、業界で最もパフォーマンスに優れたワイヤレス ネットワークを実現できます。
ゼロインパクト Application Visibility and Control	専用のハードウェア アクセラレーションを使用して、Cisco Application Visibility and Control などの回線速度を制御するためのアプリケーションのパフォーマンスを向上させます。
Cisco ClientLink 4.0	Cisco ClientLink 4.0 テクノロジーにより、空間ストリーム数が 1、2、3 の 802.11a/b/g/n/ac デバイスを含め、あらゆるモバイル デバイスへのダウンリンク パフォーマンスが向上し、スマートフォンやタブレットなどのモバイル デバイスのバッテリー駆動時間も長くなります。
Cisco CleanAir 160 MHz	Cisco CleanAir テクノロジーが 160 Mhz まで拡張されたため、20、40、80、160 MHz 幅のすべてのチャネルに予防的な高速スペクトル インテリジェンスを適用できます。これにより、無線干渉に起因するパフォーマンス問題に効果的に対処できます。
アクセス ポイント間のノイズ除去	アクセス ポイント間で RF の状態をリアルタイムかつインテリジェントに連携させることで、最適化された信号品質とパフォーマンスでの接続をユーザに提供するシスコの革新機能です。
最適化されたアクセス ポイント ローミング	カバレッジ エリア内でデータ レートが最速のアクセス ポイントにクライアント デバイスがアソシエートします。
自動リンク アグリゲーション(LAG)のサポート	802.3ad (Link Aggregation Control Protocol (LACP)) に準拠し、両方のイーサネット インターフェイスで自動的に LAG を有効にできるため、アクセス ポイントへの全体的なスループットが向上します。

802.11ac Wave 2 とその先へ

Aironet 3800 シリーズは、新世代のスマートフォン、タブレット、高性能なラップトップで 802.11ac のスピードと機能を利用できるように拡張し、優れたエンドユーザ エクスペリエンスを提供します。計画している内容が現在のワイヤレス ネットワークに対する大規模な変更であっても、レガシー Wi-Fi の導入環境 (802.11a/b/g/n/ac Wave 1 の導入) のアップグレードであっても、Aironet 3800 シリーズは対応できます。

Aironet 3800 シリーズは 802.11ac Wave 2 をサポートしており、理論上の接続レートは最大 5.2 Gbps です。これは、現在のハイエンド 802.11ac アクセス ポイントの約 4 倍に相当します。この高速化により、常に複数の Wi-Fi デバイスを使用するモバイル ワーカーが求めるパフォーマンスや帯域幅に先手を打って対応することができます。ユーザがワイヤレス LAN に課すトラフィックの負荷も比例して大きくなっており、企業の標準アクセス ネットワークであるイーサネットを凌ぐ勢いで拡大しています。

高密度エクスペリエンス

Cisco Aironet の優れた RF 性能を継承した Cisco Aironet 3800 シリーズ アクセス ポイントには、クラス最高レベルの RF アーキテクチャを備えた特定用途向けの革新的なチップセットが採用されています。このチップセットは、企業のミッションクリティカルな高性能アプリケーション向けに設計されたネットワークに対応する高密度エクスペリエンスを提供します。3800 シリーズはシスコの主力製品ポートフォリオを構成する 802.11ac 対応アクセス ポイントであり、堅牢なモバイル エクスペリエンスを提供します。また、3 空間ストリームをサポートする 802.11ac Wave 2 の 4 X 4 MU-MIMO テクノロジーを採用しています。MU-MIMO によって、アクセス ポイントはクライアント デバイス間で空間ストリームを分割できるようになるため、スループットを最大化することができます。

各アクセス ポイントに組み込まれている 2 つの無線により、Aironet 3800 シリーズは、現在市場に出回っている他のアクセス ポイントよりも汎用的に使用できます。これらの無線はフレキシブル ラジオ アサインメント機能を備えています。つまり、環境に合わせてアクセス ポイントが自動的に自己最適化を行います。たとえば、一方の無線では 5 GHz チャネルで信号を送信し、他方の無線では 2.4 GHz の信号を送信します。このアクセス ポイントはワイヤレス環境を認識し、2.4 GHz の信号を自動的に 5 GHz の信号に切り替えて、お客様による Wi-Fi 利用時の信頼性を高めます。この設定は、逆方向の切り替えについても自動的に機能します。このアクセス ポイントは RF 環境が元の状態に変化するのを認識し、設定を元に戻すことができます。

また、3800 シリーズは、ワイヤレス環境に基づいて無線の設定を動的に変更します。このアクセス ポイントでは、どちらかの無線がワイヤレス セキュリティ モニタリング モードで動作することが可能なため、ワイヤレス セキュリティに対する脅威や干渉を検知し、不正アクセスに対処できます。ワイヤレス環境を利用しているお客様に関する情報を確認するために、この重要な情報をわかりやすいマトリックスに抜粋することが可能です。フレキシブル ラジオ アサインメント(柔軟な無線割り当て)機能により、無線をワイヤレス サービス アシユアランス モードに切り換えることもできるため、予防的にネットワークのヘルス モニタリングを実施することができます。

- **最適化されたアクセス ポイント ローミング**は、そのカバレッジ エリアで最速のデータレートを提供するアクセス ポイントにクライアント デバイスをアソシエートさせます。
- **Cisco ClientLink 4.0** は、空間ストリーム数が 1、2、3 の 802.11a/b/g/n/ac デバイスを含め、あらゆるモバイル デバイスへのダウンリンク パフォーマンスを向上させます。また同時にモバイル デバイスのバッテリー持続時間を向上させます。
- **Cisco CleanAir** は、160 MHz チャネル サポートされました。CleanAir は 20、40、80、および 160 MHz 幅のチャネルで高速なスペクトル インテリジェンスを提供し、ワイヤレス干渉に起因するパフォーマンスの問題を予防します。
- **MIMO イコライゼーション**は、信号のフェージングの影響を抑えることで、アップリンクのパフォーマンスと信頼性を最適化します。

モジュラ アーキテクチャ

3800 シリーズでは、当初 Aironet 3600 シリーズに導入されたモジュラ アーキテクチャが進化しており、比類のない投資保護により将来を見据えたモジュラ ソリューションが実現します。3800 シリーズの進化した第 2 世代モジュラ アーキテクチャには以下の特長があります。

- **モジュラ接続をアクセス ポイントの底部から側面に移動**。これにより、アクセス ポイントを取り外さずにモジュールを簡単に追加したり取り外したりすることができるようになり、サイズおよび適切なアンテナの配置という点でモジュール設計における柔軟性が向上されました。
- **モジュールで利用可能な電力が 18 W に増加した**ことで、将来のモジュール ソリューションにもさらに柔軟に対応できます。

ワイヤレス LAN がプライベート ネットワークおよびパブリック ネットワークに接続するための最も有力な手法として成長を続けるにつれて、アクセス ポイントは、広範なソリューションを実現する、企業の社内ネットワークまたはキャリア サービス ネットワークへの最適な統合ポイントとなりつつあります。企業では、使用している有線ネットワークから引き込んだ Ethernet ケーブル 1 本を使用して、高速なネットワーク アクセスを提供できます。また、一般的な使用方法として、3800 シリーズ アクセス ポイントや、同アクセス ポイントに統合された、または同アクセス ポイントを介して相互接続されたソリューションに Power over Ethernet (PoE) を提供できます。

製品仕様

項目	仕様
部品番号	<p>Cisco Aironet 3800i アクセス ポイント: 屋内環境向け(内蔵アンテナ)</p> <ul style="list-style-type: none"> AIR-AP3802I-x-K9: デュアルバンド/コントローラ対応 802.11a/b/g/n/ac AIR-AP3802I-xK910: アクセス ポイント 10 台のエコパック(デュアルバンド 802.11a/b/g/n/ac) <p>Cisco Aironet 3800i アクセス ポイント(構成可能): 屋内環境向け(内部アンテナ)</p> <ul style="list-style-type: none"> AIR-AP3802I-x-K9C: デュアルバンド/コントローラ対応 802.11a/g/n/ac、構成可能 AIR-AP3802I-xK910C: エコパック(デュアルバンド 802.11a/g/n/ac)、10 台のアクセス ポイント、構成可能 <p>Cisco Aironet 3800e アクセス ポイント: 要件の厳しい屋内環境向け(外部アンテナ)</p> <ul style="list-style-type: none"> AIR-AP3802e-x-K9: デュアルバンド/コントローラ対応 802.11a/b/g/n/ac AIR-AP3802e-xK910: アクセス ポイント 10 台のエコパック(デュアルバンド 802.11a/b/g/n/ac) <p>Cisco Aironet 3800e アクセス ポイント(構成可能): 要件の厳しい屋内環境向け(外部アンテナ)</p> <ul style="list-style-type: none"> AIR-AP3802E-x-K9C: デュアルバンド/コントローラ対応 802.11a/g/n/ac、構成可能 AIR-AP3802E-xK910C: エコパック(デュアルバンド 802.11a/g/n/ac)、10 台のアクセス ポイント、構成可能 <p>Cisco Aironet 3800p アクセス ポイント: 要件の厳しい屋内環境向け(外部アンテナ)</p> <ul style="list-style-type: none"> AIR-AP3802p-x-K9: デュアルバンド/コントローラ対応 802.11a/b/g/n/ac AIR-AP3802p-xK910: アクセス ポイント 10 台のエコパック(デュアルバンド 802.11a/b/g/n/ac) <p>Cisco Aironet 3800p アクセス ポイント(構成可能): 要件の厳しい屋内環境向け(外部アンテナ)</p> <ul style="list-style-type: none"> AIR-AP3802p-x-K9C: デュアルバンド/コントローラ対応 802.11a/g/n/ac、構成可能 AIR-AP3802p-xK910C: エコパック(デュアルバンド 802.11a/g/n/ac)、10 台のアクセス ポイント、構成可能 <p>Cisco Smart Net Total Care™ (アンテナ内蔵型 Cisco Aironet 3800i Access Point 向け)</p> <ul style="list-style-type: none"> CON-SNT-AIRPIBK9: SNTC-8X5XNBD 802.11ac Ctrlr AP 4x(期間: 12 ヶ月) <p>Cisco Smart Net Total Care(外部アンテナ付き Cisco Aironet 3800e Access Point 向け)</p> <ul style="list-style-type: none"> CON-SNT-AIRPID38E: SNTC-8X5XNBD 802.11ac Ctrlr AP 4x4:3SS w/CleanAir, Ex(期間: 12 ヶ月) <p>Cisco Smart Net Total Care(外部アンテナ付き Cisco Aironet 3800p Access Point 向け)</p> <ul style="list-style-type: none"> CON-SNT-AIRAP382: SNTC-8X5XNBD 802.11ac Ctrlr AP 4x(期間: 12 ヶ月) <p>規制ドメイン: (x = 規制ドメイン)</p> <p>お客様の国における使用認可をご確認ください。認可状況および特定の国に対応する規制ドメインを確認するには、http://www.cisco.com/go/aironet/compliance [英語] を参照してください。</p> <p>すべての規制ドメインで使用が認可されているわけではありません。使用が認可され次第、グローバル価格表に製品番号が記載されます。</p> <p>Cisco Smart Net Total Care サービス: http://www.cisco.com/go/sntc [英語]</p> <p>Cisco Wireless LAN サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> AS-WLAN-CNSLT: Cisco Wireless LAN Network Planning and Design Service [英語] AS-WLAN-CNSLT: Cisco Wireless LAN 802.11n Migration Service [英語] AS-WLAN-CNSLT: Cisco Wireless LAN Performance and Security Assessment Service [英語]
ソフトウェアおよびサポートされるワイヤレス LAN コントローラ	<ul style="list-style-type: none"> Cisco Unified Wireless Network ソフトウェア リリース 8.2 MR1 以降 Cisco 2500 シリーズ ワイヤレス コントローラ、Cisco Wireless Controller Module for ISR G2、Catalyst® 6500 シリーズ スイッチ向け Cisco Wireless Services Module 2 (WiSM2)、Cisco 5500 シリーズ ワイヤレス コントローラ、Cisco Flex® 7500 シリーズ ワイヤレス コントローラ、Cisco 8500 シリーズ ワイヤレス コントローラ、Cisco Virtual Wireless Controller Cisco IOS® XE ソフトウェア リリース 16.3(CY 2016 Q3 を目標) Cisco Catalyst 3850 シリーズ 3650 シリーズ スイッチ

項目	仕様
802.11n バージョン 2.0 および関連機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 3 空間ストリームの 4 X 4 MIMO ● 最大比合成 (MRC) ● 802.11n および 802.11a/g ビームフォーミング ● 20 MHz および 40 MHz チャンネル ● 最大 450 Mbps の PHY データ レート (5 GHz 帯で 40 MHz) ● パケット集約: A-MPDU (Tx/Rx)、A-MSDU (Tx/Rx) ● 802.11 Dynamic Frequency Selection (DFS) ● Cyclic Shift Diversity (CSD) サポート
802.11ac Wave 1 機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 3 空間ストリームの 4 X 4 MIMO ● MRC ● 802.11ac ビームフォーミング ● 20、40、80 MHz チャンネル ● 最大 1.3 Gbps の PHY データ レート (5 GHz 内の 80 MHz) ● パケット集約: A-MPDU (Tx/Rx)、A-MSDU (Tx/Rx) ● 802.11 DFS ● CSD のサポート
802.11ac Wave 2 機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 3 空間ストリームの 4 X 4 MU-MIMO ● MRC ● 802.11ac ビームフォーミング ● 20、40、80、160 MHz チャンネル ● 最大 5.2 Gbps の PHY データ レート ● パケット集約: A-MPDU (Tx/Rx)、A-MSDU (Tx/Rx) ● 802.11 DFS ● CSD のサポート
内蔵アンテナ	<p>フレキシブル ラジオ (2.4 GHz または 5 GHz)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.4 GHz、ゲイン 4 dBi、内部アンテナ、全水平方向 ● 5 GHz、ゲイン 6 dBi、内部方向アンテナ、垂直面ビーム幅 90° <p>専用 5 GHz 無線</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 5 GHz、ゲイン 5 dBi、内部アンテナ、全水平方向
外部アンテナ (別売)	<ul style="list-style-type: none"> ● 3802e シリーズ アクセス ポイントは、アンテナ ゲイン最大 6 dBi (2.4 GHz および 5 GHz) での使用が認定済み ● 3802p シリーズ アクセス ポイントは、アンテナ ゲイン最大 13 dBi (2.4 GHz および 5 GHz) (AIR-ANT2513-P4M-N アンテナ使用) での使用が認定済み ● シスコは業界で最多の種類の アンテナ を取り揃え、多様な導入シナリオに最適なカバレッジを提供
スマート アンテナ コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> ● 3802e シリーズおよび 3802p シリーズ アクセス ポイントでのみ使用可能 ● 2 つ目のアンテナをこのアクセス ポイントに接続するために、RP-TNC コネクタへの AIR-CAB002-DART-R= 2 ft (60.96 cm) スマート アンテナ コネクタが必要 ● フレキシブル ラジオを以下のいずれかとして利用する場合に必要 <ul style="list-style-type: none"> ○ 2 つ目の 5 GHz 用無線 ○ ワイヤレス セキュリティ モニタリング無線
インターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> ○ イーサネット ポート X 2 ○ 100/1000/2500/5000 マルチギガビット イーサネット (RJ-45) <ul style="list-style-type: none"> ○ CAT 5e ケーブル配線 ○ 高品質 10GBASE-T (CAT 6/6a) ケーブル配線 ○ 100/1000BASE-T 自動検知 (RJ-45 - AUX ポート) ○ 管理コンソール ポート (RJ-45)
インジケータ	<ul style="list-style-type: none"> ● ステータス LED はブートローダ ステータス、アソシエーション ステータス、動作ステータス、ブートローダ警告、ブートローダエラーを表示
寸法 (幅 X 奥行 X 高さ)	<ul style="list-style-type: none"> ● アクセス ポイント (マウント ブラケットを除く): 3802I: 22 X 22 X 6.25 cm (8.66 X 8.68 X 2.46 インチ)、3802E: 22 X 22 X 6.7 cm (8.66 X 8.68 X 2.62 インチ)、3802P: 22 X 22 X 6.7 cm (8.66 X 8.68 X 2.62 インチ)
重量	<ul style="list-style-type: none"> ● 2.09 kg (4.6 ポンド)

項目	仕様		
入力電力要件	<ul style="list-style-type: none"> ● 802.3at PoE+, Cisco Universal Power over Ethernet (Cisco UPOE®) ● 802.3at パワー インジェクタ (AIR-PWRINJ6=) ● 50 W の電源 (AIR-PWR-50=) 		
消費電力	<ul style="list-style-type: none"> ● USB 2.0 ポートを除く全機能を有効にした PSE で 30 W ● USB 2.0 ポートを有効にした PSE で 34 W 		
環境	<p>Cisco Aironet 3800i</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 非動作 (保管) 温度: -30 ~ 70 °C (-22 ~ 158 °F) ● 非動作 (保管) 時の高度テスト: 25 °C、4,572 m (15,000 フィート) ● 動作温度: 0 ~ 40 °C (32 ~ 104 °F) ● 動作湿度: 10 ~ 90 % (結露しないこと) ● 動作高度テスト: 40 °C、3,000 m (9,843 フィート) <p>Cisco Aironet 3800e</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 非動作 (保管) 温度: -30 ~ 70 °C (-22 ~ 158 °F) ● 非動作 (保管) 時の高度テスト: 25 °C、4,572 m (15,000 フィート) ● 動作温度: -20 ~ 50 °C (-4 ~ 122 °F) ● 動作湿度: 10 ~ 90 % (結露しないこと) ● 動作高度テスト: 40 °C、3,000 m (9,843 フィート) <p>Cisco Aironet 3800p</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 非動作 (保管) 温度: -30 ~ 70 °C (-22 ~ 158 °F) ● 非動作 (保管) 時の高度テスト: 25 °C、4,572 m (15,000 フィート) ● 動作温度: -20 ~ 50 °C (-4 ~ 122 °F) ● 動作湿度: 10 ~ 90 % (結露しないこと) <p>動作高度テスト: 40 °C、3,000 m (9,843 フィート)</p>		
システム メモリ	<ul style="list-style-type: none"> ● 1024 MB DRAM ● 256 MB フラッシュ メモリ 		
利用可能な送信出力設定	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>2.4 GHz</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 23 dBm (200 mW) ● 20 dBm (100 mW) ● 17 dBm (50 mW) ● 14 dBm (25 mW) ● 11 dBm (12.5 mW) ● 8 dBm (6.25 mW) ● 5 dBm (3.13 mW) ● 2 dBm (1.56 mW) </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>5 GHz</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 23 dBm (200 mW) ● 20 dBm (100 mW) ● 17 dBm (50 mW) ● 14 dBm (25 mW) ● 11 dBm (12.5 mW) ● 8 dBm (6.25 mW) ● 5 dBm (3.13 mW) ● 2 dBm (1.56 mW) </td> </tr> </table>	<p>2.4 GHz</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 23 dBm (200 mW) ● 20 dBm (100 mW) ● 17 dBm (50 mW) ● 14 dBm (25 mW) ● 11 dBm (12.5 mW) ● 8 dBm (6.25 mW) ● 5 dBm (3.13 mW) ● 2 dBm (1.56 mW) 	<p>5 GHz</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 23 dBm (200 mW) ● 20 dBm (100 mW) ● 17 dBm (50 mW) ● 14 dBm (25 mW) ● 11 dBm (12.5 mW) ● 8 dBm (6.25 mW) ● 5 dBm (3.13 mW) ● 2 dBm (1.56 mW)
<p>2.4 GHz</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 23 dBm (200 mW) ● 20 dBm (100 mW) ● 17 dBm (50 mW) ● 14 dBm (25 mW) ● 11 dBm (12.5 mW) ● 8 dBm (6.25 mW) ● 5 dBm (3.13 mW) ● 2 dBm (1.56 mW) 	<p>5 GHz</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 23 dBm (200 mW) ● 20 dBm (100 mW) ● 17 dBm (50 mW) ● 14 dBm (25 mW) ● 11 dBm (12.5 mW) ● 8 dBm (6.25 mW) ● 5 dBm (3.13 mW) ● 2 dBm (1.56 mW) 		
周波数帯および 20 MHz 動作チャネル	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>A (A 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.500 ~ 5.700 GHz、8 チャネル (5.600 ~ 5.640 GHz を除く) ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>B (B 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.500 ~ 5.720 GHz、12 チャネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>C (C 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>D (D 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>E (E 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>I (I 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル <p>K (K 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.500 ~ 5.620 GHz、7 チャネル ● 5.745 ~ 5.805 GHz、4 チャネル <p>N (N 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>Q (Q 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.500 ~ 5.700 GHz、11 チャネル <p>R (R 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル </td> </tr> </table>	<p>A (A 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.500 ~ 5.700 GHz、8 チャネル (5.600 ~ 5.640 GHz を除く) ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>B (B 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.500 ~ 5.720 GHz、12 チャネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>C (C 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>D (D 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>E (E 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル 	<p>I (I 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル <p>K (K 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.500 ~ 5.620 GHz、7 チャネル ● 5.745 ~ 5.805 GHz、4 チャネル <p>N (N 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>Q (Q 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.500 ~ 5.700 GHz、11 チャネル <p>R (R 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル
<p>A (A 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.500 ~ 5.700 GHz、8 チャネル (5.600 ~ 5.640 GHz を除く) ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>B (B 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.500 ~ 5.720 GHz、12 チャネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>C (C 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>D (D 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>E (E 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル 	<p>I (I 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル <p>K (K 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.500 ~ 5.620 GHz、7 チャネル ● 5.745 ~ 5.805 GHz、4 チャネル <p>N (N 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>Q (Q 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.500 ~ 5.700 GHz、11 チャネル <p>R (R 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル 		

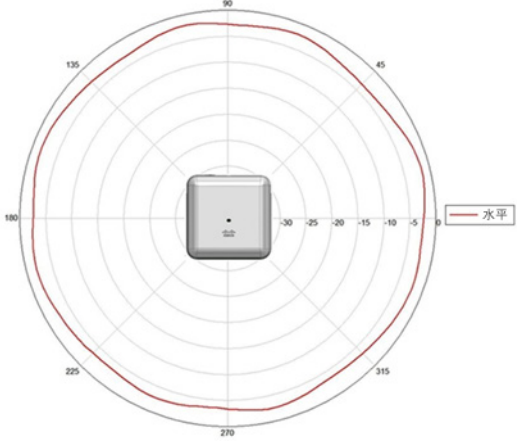
項目	仕様	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャンネル ● 5.500 ~ 5.700 GHz、8 チャンネル (5.600 ~ 5.640 GHz を除く) <p>F(F 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャンネル ● 5.745 ~ 5.805 GHz、4 チャンネル <p>G(G 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャンネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャンネル <p>H(H 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャンネル ● 5.150 ~ 5.320 GHz、8 チャンネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャンネル <ul style="list-style-type: none"> ● 5.660 ~ 5.700 GHz、3 チャンネル ● 5.745 ~ 5.805 GHz、4 チャンネル <p>S(S 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャンネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャンネル ● 5.500 ~ 5.700 GHz、11 チャンネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャンネル <p>T(T 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャンネル ● 5.280 ~ 5.320 GHz、3 チャンネル ● 5.500 ~ 5.700 GHz、8 チャンネル (5.600 ~ 5.640 GHz を除く) ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャンネル <p>Z(Z 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャンネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャンネル ● 5.500 ~ 5.700 GHz、8 チャンネル (5.600 ~ 5.640 GHz を除く) ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャンネル 	
<p>注:お客様の国における使用認可をご確認ください。認可状況および特定の国に対応する規制ドメインを確認するには、http://www.cisco.com/web/JP/product/hs/wireless/airo3500/prodlit/product_data_sheet0900aecd80537b6a.html を参照してください。</p>		
<p>非オーバーラップチャンネルの最大数</p>	<p>2.4 GHz</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 802.11b/g: <ul style="list-style-type: none"> ○ 20 MHz: 3 ● 802.11n: <ul style="list-style-type: none"> ○ 20 MHz: 3 	<p>5 GHz</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 802.11a: <ul style="list-style-type: none"> ○ 20 MHz: 25 FCC, 16 EU ● 802.11n: <ul style="list-style-type: none"> ○ 20 MHz: 25 FCC, 16 EU ○ 40 MHz: 12 FCC, 7 EU ● 802.11ac: <ul style="list-style-type: none"> ○ 20 MHz: 25 FCC, 16 EU ○ 40 MHz: 12 FCC, 7 EU ○ 80 MHz: 6 FCC, 3 EU ○ 160 MHz: 2 FCC, 1 EU
<p>注: 数値は規制ドメインによって異なります。各規制ドメイン別の詳細については、製品マニュアルを参照してください。</p>		
<p>適合規格</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ UL 60950-1 ○ CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1 ○ UL 2043 ○ IEC 60950-1 ○ EN 60950-1 ○ EN 50155 ● 無線の認可: <ul style="list-style-type: none"> ○ FCC Part 15.107、15.109、15.247、15.407、14-30 ○ RSS-247(カナダ) ○ EN 300.328、EN 301.893(欧州) ○ ARIB-STD 66(日本) ○ ARIB-STD T71(日本) ○ EMI および感受性(クラス B) ○ ICES-003(カナダ) ○ VCCI(日本) ○ EN 301.489-1 および -17(欧州) ○ Medical 指令(93/42/EEC)に関する EN 60601-1-2 EMC 要件 ● IEEE 標準: <ul style="list-style-type: none"> ○ IEEE 802.11a/b/g、802.11n、802.11h、802.11d ○ IEEE 802.11ac 	

項目	仕様						
保証 対応データレート	<ul style="list-style-type: none"> ● セキュリティ: <ul style="list-style-type: none"> ◦ 802.11i、Wi-Fi Protected Access 2 (WPA2)、WPA ◦ 802.1X ◦ Advanced Encryption Standards (AES) ● 拡張認証プロトコル (EAP) の種類: <ul style="list-style-type: none"> ◦ EAP-Transport Layer Security (TLS) ◦ EAP-Tunneled TLS (TTLS) または Microsoft Challenge Handshake Authentication Protocol Version 2 (MSCHAPv2) ◦ Protected EAP (PEAP) v0 または EAP-MSCHAPv2 ◦ EAP-Flexible Authentication via Secure Tunneling (FAST) ◦ PEAP v1 または EAP-GTC (汎用トークンカード) ◦ EAP-Subscriber Identity Module (SIM) ● マルチメディア <ul style="list-style-type: none"> ◦ Wi-Fi マルチメディア (WMM) ● その他: <ul style="list-style-type: none"> ◦ FCC Bulletin OET-65C ◦ RSS-102 						
	制限付きライフタイム ハードウェア保証						
	802.11b: 1、2、5.5、および 11 Mbps						
	802.11a/g: 6、9、12、18、24、36、48、および 54 Mbps						
	802.11n HT20: 6.5 ~ 216.7 Mbps (MCS0 ~ MCS23)						
	802.11n HT40: 13.5 ~ 450 Mbps (MCS0 ~ MCS23)						
	802.11ac VHT20: 6.5 ~ 288.9 Mbps (MCS0 ~ 8 - SS 1, MCS0 ~ 9 - SS 2 および 3)						
	802.11ac VHT40: 13.5 ~ 600 Mbps (MCS0 ~ 9 - SS 1 ~ 3)						
	802.11ac VHT80: 29.3 ~ 1300 Mbps (MCS0 ~ 9 - SS 1 ~ 3)						
	802.11ac VHT160: 58.5 ~ 2304 Mbps (MCS0 ~ 9 - SS 1 および 2, MCS0 ~ 8 - SS 3)						
送信出力および受信感度							
		5 GHz 無線		2.4 GHz フレキシブル ラジオ		5 GHz フレキシブル ラジオ	
	空間ストリーム	送信出力合計 (dBm)	受信感度 (dBm)	送信出力合計 (dBm)	受信感度 (dBm)	送信出力合計 (dBm)	受信感度 (dBm)
802.11/11b							
1 Mbps	1	該当なし	該当なし	23	-101	該当なし	該当なし
11 Mbps	1	該当なし	該当なし	23	-88	該当なし	該当なし
802.11a/g							
6 Mbps	1	23	-93	23	-91	23	-92
24 Mbps	1	23	-89	23	-87	23	-89
54 Mbps	1	23	-81	23	-77	22	-80
802.11n HT20							
MCS0	1	23	-93	23	-91	23	-93
MCS4	1	23	-88	23	-86	23	-87
MCS7	1	23	-79	23	-77	22	-78
MCS8	2	23	-93	23	-91	21	-93
MCS12	2	23	-86	23	-85	23	-86
MCS15	2	23	-79	23	-77	21	-78
MCS16	3	23	-93	23	-91	23	-92
MCS20	3	23	-85	23	-84	22	-84
MCS23	3	23	-78	23	-76	18	-77

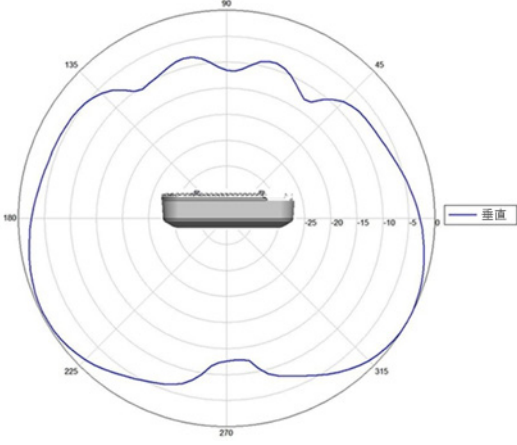
項目		仕様					
802.11n HT40							
MCS0	1	23	-90			23	-89
MCS4	1	23	-85			23	-84
MCS7	1	23	-76			23	-75
MCS8	2	23	-90			23	-89
MCS12	2	23	-83			23	-83
MCS15	2	23	-76			21	-76
MCS16	3	23	-90			23	-89
MCS20	3	23	-82			23	-81
MCS23	3	23	-75			20	-74
802.11ac VHT20							
MCS0	1	23	-93			23	-92
MCS4	1	23	-88			23	-87
MCS7	1	23	-82			22	-80
MCS8	1	23	-77			21	-75
MCS0	2	23	-93			23	-91
MCS4	2	23	-86			23	-84
MCS7	2	23	-79			21	-77
MCS8	2	23	-75			20	-73
MCS9	2	該当なし	該当なし			該当なし	該当なし
MCS0	3	23	-93			23	-91
MCS4	3	23	-85			22	-83
MCS7	3	23	-78			20	-76
MCS8	3	23	-74			19	-72
MCS9	3	23	-72			18	-70
802.11ac VHT40							
MCS0	1	23	-90			23	-89
MCS4	1	23	-85			23	-84
MCS7	1	23	-78			22	-77
MCS8	1	23	-75			21	-73
MCS9	1	23	-73			20	-72
MCS0	2	23	-90			23	-89
MCS4	2	23	-83			23	-82
MCS7	2	23	-76			21	-75
MCS8	2	23	-73			20	-72
MCS9	2	23	-71			19	-69
MCS0	3	23	-90			23	-89
MCS4	3	23	-82			23	-80
MCS7	3	23	-74			20	-73
MCS8	3	23	-70			19	-68
MCS9	3	23	-69			18	-67

項目		仕様					
802.11ac VHT80							
MCS0	1	23	-87			23	-86
MCS4	1	23	-83			23	-81
MCS7	1	23	-76			22	-74
MCS8	1	23	-72			21	-70
MCS9	1	23	-69			20	-68
MCS0	2	23	-87			23	-86
MCS4	2	23	-80			23	-79
MCS7	2	23	-73			21	-72
MCS8	2	23	-69			20	-68
MCS9	2	23	-67			19	-66
MCS0	3	23	-87			23	-86
MCS4	3	23	-77			23	-77
MCS7	3	23	-72			20	-70
MCS8	3	23	-67			19	-66
MCS9	3	22	-65			18	-64
802.11ac VHT160							
MCS0	1	23	-83			23	-83
MCS4	1	23	-78			23	-78
MCS7	1	23	-71			22	-71
MCS8	1	23	-67			21	-68
MCS9	1	23	-66			20	-66
MCS0	2	23	-83			23	-83
MCS4	2	23	-76			23	-76
MCS7	2	23	-69			21	-69
MCS8	2	23	-65			20	-66
MCS9	2	23	-63			19	-63
MCS0	3	23	-82			23	-83
MCS4	3	23	-74			22	-74
MCS7	3	23	-67			20	-68
MCS8	3	23	-62			19	-62

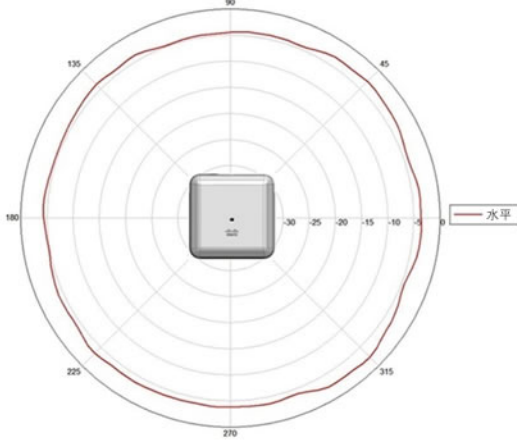
2.4 GHz 水平マイクロ



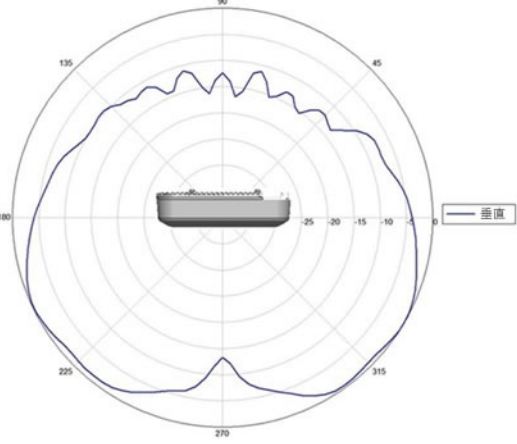
2.4 GHz 垂直マイクロ



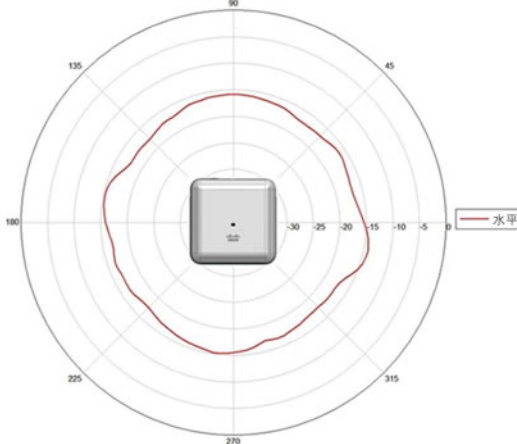
5 GHz 水平マイクロ



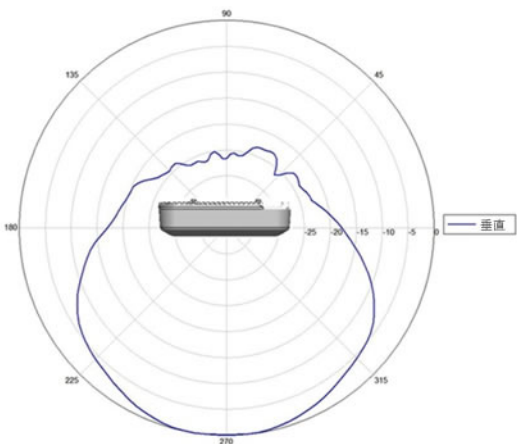
5 GHz 垂直マイクロ



5 GHz 水平マイクロ



5 GHz 垂直マイクロ



保証に関する情報

Cisco Aironet 3800 シリーズ アクセス ポイントには、制限付きライフタイム保証が付属します。この保証は、製品を最初に購入したエンドユーザが所有または使用し続ける限り、ハードウェアに対する包括的な保証を提供するというものです。この保証には、10 日以内の代替品先行手配が含まれます。また、ソフトウェア メディアについては、90 日間、障害が発生しないことを保証します。詳細については、<http://www.cisco.com/go/warranty/> を参照してください。

Cisco Capital

目標の達成に役立つファイナンス

Cisco Capital[®] では、目標を達成し、競争力を維持するために必要なテクノロジーの取得を支援します。CapEx の削減をサポートし、成功を加速させ、投資金額と ROI を最適化します。Cisco Capital ファイナンス プログラムにより、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、および補完的なサードパーティ製機器を柔軟に購入することができます。また、それらの購入を 1 つにまとめた計画的なお支払い方法をご用意しています。Cisco Capital は 100 カ国以上でサービスを利用できます。[詳細はこちら](#)

* 出荷開始後

©2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2016 年 8 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先